



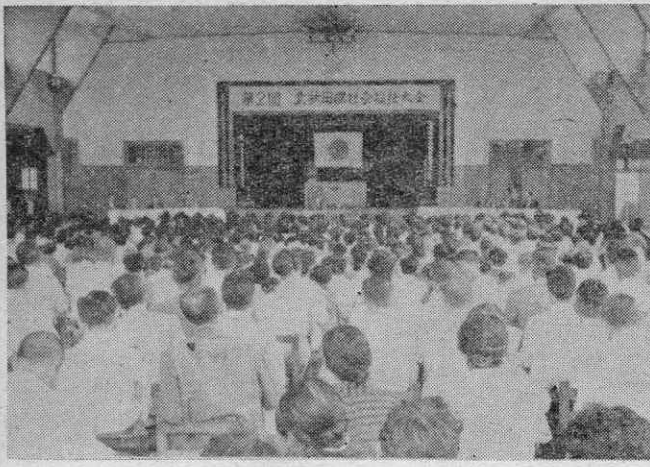
毎月2回10日・25日発行
発行所 秋田県北秋田郡
編集責任者 佐藤一郎
(合川町役場給務課)
TEL合川4番
(1回発行部数2,400)

各種の要望を決議

第二回郡社福大会おわる

第二回北秋田郡社会福祉大会は、去る三十日当町東中学校講堂に郡内各町村から約一千名が参加して盛大に開かれた。大会はまず表彰(別項参照)にはじまり、当面する諸問題を四つの分科会にわかれて討議、これからの社会福祉向上のため大いに頑張ろうという大会宣言決議を力強く可決し、最後に当町の「猿倉人形劇」を鑑賞して午後四時散会した。

- ①民生委員の手当を国庫補助にされたい。
②全保護世帯に全県統一の家計簿を交付されたい
③世帯更生運動推進のため民生委員に調査権を付与されたい。
④県外医療機関利用の場合の医療扶助決定を簡素化されたい。
(これらの事項はいずれも②映画、雑誌、広告などを



【写真==大会会場】

見ると児童の為にならぬものばかり多い。現在政府では青少年保護育成条例を考えているというが一日も早く実現をはから

た。
①母子福祉部会
母子福祉資金は申込みをしてもその三〇%くらいしか借りることができないが、これでは更生しようとする未亡人が更生できないことになるので、申込者全員が借りられるように県のワケを拡大されたい。
②生活扶助費に母子加算をしてもらいたい。
③母子相談員に協力する母子協力員にも必要な経費の補助をされたい。
④未亡人の子供が就職するに際して片親がいけない故をもつて就職がゆがめられたというあまりかんばしくない例があるが、できるなら各町村でこの人達の就職を考えた共同作業施設をもうけてもらいたい。
⑤母子福祉資金は子供十八才までを対象にしている

が、これを二十二才まで引上げてもらいたい。
⑥女の世帯の場合、いろいろと男の民生委員には言いにくい問題があるので、婦人民生委員を増やしてもらいたい。
◇身障福祉部会
①身体障害者は百キロ以上でなければ汽車賃の割引が受けられないがこの制限を廃止してもらいたい。
②秋田県にも県立の身体障害者更生指導及び職業補導施設を設置するよう関係機関に要望されたい。
③国民年金制度を早急に成立させてもらいたい。
また、当日表彰された人々
○民生部会
花矢町児童委員 児玉 三吉
鷹巣町民生児童委員 河田 ヨシ
長谷川政子
○児童福祉部会

阿仁町保育所長 宮原 忠美
○母子福祉部会
比内町 成田 タカ
合川町 佐藤 モト
森吉町 高田 ナツ
鷹巣町 成田 ミヨ
○身障福祉部会
合川町 三沢 栄治
○感謝状贈呈者
田代町早口映画劇場代表 山口 典子
比内町比内座代表 比内 正治
花矢町 菅清康、菅重利
鷹巣町 藤島万一郎、佐藤 國之助、成田稔、田中省吾、河田七蔵

の面積があればよいことなっているが、補助を受けようとする場合は造林計画書と申請書(春植、秋植にかかわらず)を町森林組合に提出されるように望んでいる。なお詳細については森林組合に問合せられたらよいことである。
(七月二十五日付)産業経済特集号六頁の鎌沢部落の酪農に関する記事中に「当時の部落指導者は福田武治氏の部族」とあり、これは福田武治氏の誤りである旨御本人の福田氏をはじめ、その他二、三の方から指摘があり調査の結果、当時の部落代表は福田武治氏であることがわかりました。同日記事に「当時の指導者は今は故人となられた福田庄之助氏であった」とあるのを「当時の指導者は前部落代表の福田武治氏であった。同氏のと訂正し御迷惑をかけた各位に謹んでお詫び申し上げます。」(保)

四年続きの大豊作か

予約申込は一八、五〇〇石

今年の稲作は水、陸稲とも植付以来の好条件に恵まれて四年連続豊作は確実とみられ、町の実収高は三万五千石を上廻るものと予想されている。
八月二十五日に締切られた米の売渡予約申込数量も昨年の実績を一千四百五十石も上廻る一万八千五百六十石四斗に達した。
関係機関で見た稲作の状況は、草丈、分けつとも好調で非常に成育がよく、秋落ちなども少ないようであるが、一部には出穂期の病虫害やその後の水害による被害も若干あるものがある。その対策管理が適切に行われたのであまり大きな影響はないとみられている。
また今年には肥料も多量に使用されているので出来過ぎによる稲の倒伏、イモチ病の常習田地における首イモ



【写真=起工式、合川橋現場(上)と(下)無事竣工を祈願する小畑知事(矢印)】

小畑知事も来町

阿仁川 両橋の起工式行わる

町内の重要幹線道路阿仁はこびとなり、また合川橋川橋と町道(直線道路)合は去る七月の定例町議会で川橋の起工式が去る九日小畑知事が可決されたもので、知事をはじめ、多数の来町者、町道の橋梁が同時に着工が参列して各現場で盛大に挙行された。
阿仁川橋は過去数度にわたる水害で流失し、永久橋として工費五千四百万円、架替への運動が続けられて三十三年度中に、また合川橋は木橋で工費七百五十万

雑木林の切りかえに補助

町森林組合では生産性の低い広葉樹(松、雑木林)を来年度から杉、松などの人工造林に切りかえようとする人々のために補助申請を受け付ける準備を進めている。この補助率は、植林に要する費用(標準単価制)の町歩三万三千元と定められ

東地区で移動婦人学級に楽しい一日
町公民館東分館(館長松橋盛久氏)では去る八月二十五日青森県大鰐温泉で移動婦人学級を開催、講師として参加した島山町長、関上大野農協組合長、県社教主事渡部ひろし君から講話やレクリエーションの指導を受け、さらに各地区対抗の演芸会を開くなど、この日のお母さんたちは日頃の家業労働から解放され、明るくのびのびとした一日を過ごした。

昭和33年産米 予約売渡番付表 110俵以上

Table with columns for West (西), East (東), and names of farmers and their rice quantities. Includes a central column for '行司' (Registrar) and '取締' (Supervisor).

長野派遣実習生を訪ねて

和田 勇 治

八月十四日盆休みを利用して、長野派遣の実習生を訪ねた。あいかわと天候が不濟の工藤博君とともに訪ねた。秋田で小降り降るうとうと訪ねた。秋田で小降り降るうとうと訪ねた。秋田で小降り降るうとうと訪ねた。秋田で小降り降るうとうと訪ねた。

八月十四日盆休みを利用して、長野派遣の実習生を訪ねた。あいかわと天候が不濟の工藤博君とともに訪ねた。秋田で小降り降るうとうと訪ねた。秋田で小降り降るうとうと訪ねた。秋田で小降り降るうとうと訪ねた。



農事メモ

イネの成熟期はなかなか見わけにくく、刈取りの時期がまちまちになりがちなので、今回は少しそれについての検討とタネとりについてふれてみよう。

イネの刈取りは普通には出穂後四〇〜五〇日ぐらいたとされているが、登熟中の気象状況や生育によつても早晚があるといわれている。

今までは葉が黄色に変り、大部分の穂首が黄変したときが適期とされてきたが、品種や作り方、あるいは気候などによつてはいつまでも緑色をたもつていたりすることがある。

だから成熟期をきめるにはモミの色をみてきめる方がよく、大部分のモミが黄変して三粒緑色のモミがある程度の時期とした方がよい。

その頃になると穂の三分の一ぐらいいの枝梗は枯れはじめているのが普通であり、刈取りの適期といえよう。

稲の成熟期と種モミの採取

刈取期の早晩と反当収量および玄米一升の重さを比較してみると、早刈(約二週間早)は二石五斗五升三七九匁、中刈(黄熟期)は二石六斗九升三八一匁、晩刈(約二週間晩)は二石六斗 三七九匁となり、収量にも影響するので、刈取期の決定には充分注意すること。

次にタネとりについて、刈取ったイネは室内に

刈取ったイネは室内に乾燥させ、十分に乾燥させた後、種モミを採取する。種モミの採取には、専用の道具を使用し、丁寧に選別する必要がある。また、種モミの保管には、清潔な容器を使用し、湿気や害虫から守ることが大切である。

種モミの採取には、専用の道具を使用し、丁寧に選別する必要がある。また、種モミの保管には、清潔な容器を使用し、湿気や害虫から守ることが大切である。

駅前簡易郵便局

高令者には年金を贈与 敬老式

この十月一日から駅前簡易郵便局が設置されることになり、郵政当局及び町役場の関係者による準備作業が進められている。

「駅前簡易郵便局」という名称は町合併以前から地域住民が強く望んでおられたが、いろいろな事情からその実現は見送られてきた。

毎年九月十五日の「としは二カ所で」とし老人を大事にする度合で、その国の文化の程度がわかる。国民のすべてがとしよりを尊敬し親愛の心をもつて常々その幸福を考え、またとしよりと若い者たちが協調し、お互いの立場を尊重し合つてこそ明るい社会が築かれるものといえよう。

八月末に稲刈り

あともがき

稲刈りの町内第一号が現もやつても望んでいる。松橋久郎さん(大内沢)が今年試験的に、辰三早生、一反二の風来坊氏からのもので、普及員が巡回に来ておいて、八月三十日当日のトップをきつて鎌入れを行なった。収穫量は三石五斗は下るまいとみられている。

渡船に注意!!

乗客の自重を

町内の橋梁は、最近の大雨の影響で、一部が損傷を受けている。渡船の際は、乗客の自重をとり、橋梁の安全を確保することが大切である。

八月末に稲刈り

あともがき

稲刈りの町内第一号が現もやつても望んでいる。松橋久郎さん(大内沢)が今年試験的に、辰三早生、一反二の風来坊氏からのもので、普及員が巡回に来ておいて、八月三十日当日のトップをきつて鎌入れを行なった。収穫量は三石五斗は下るまいとみられている。

高令者には年金を贈与 敬老式

敬老式

毎年九月十五日の「としは二カ所で」とし老人を大事にする度合で、その国の文化の程度がわかる。国民のすべてがとしよりを尊敬し親愛の心をもつて常々その幸福を考え、またとしよりと若い者たちが協調し、お互いの立場を尊重し合つてこそ明るい社会が築かれるものといえよう。

渡船に注意!!

乗客の自重を

町内の橋梁は、最近の大雨の影響で、一部が損傷を受けている。渡船の際は、乗客の自重をとり、橋梁の安全を確保することが大切である。

八月末に稲刈り

あともがき

稲刈りの町内第一号が現もやつても望んでいる。松橋久郎さん(大内沢)が今年試験的に、辰三早生、一反二の風来坊氏からのもので、普及員が巡回に来ておいて、八月三十日当日のトップをきつて鎌入れを行なった。収穫量は三石五斗は下るまいとみられている。